

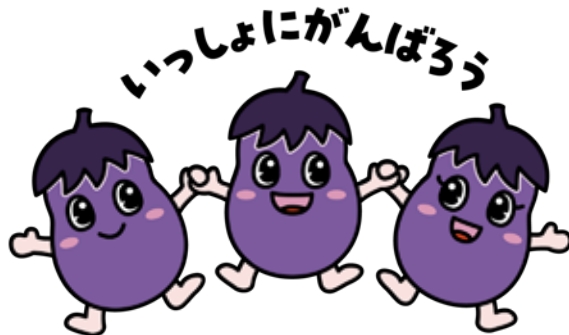
基本計画(第4章)の構成

(1) 基本計画の考え方

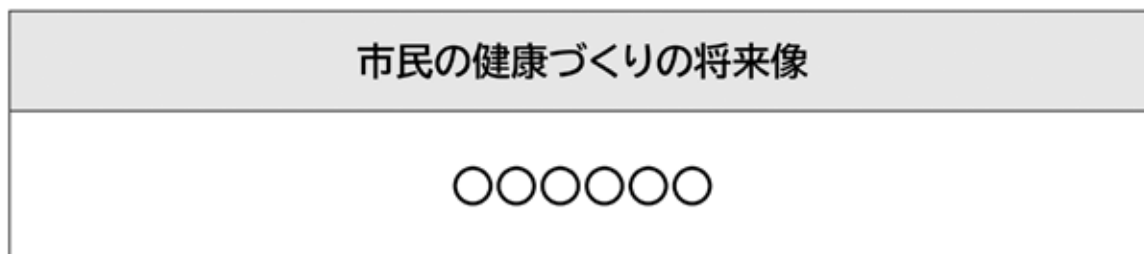
基本計画では、施策分野(「健康管理」など)ごとに、「市民の健康づくりの将来像」の実現を目指します。その将来像を実現するためには適切な施策の方向性を定めることが重要なことから、第3次健康こなん21計画では新たに「健康づくりの未来予想図」(ライフステージ別の期待する効果)を設定しました。これは、言わば将来像と施策をつなぐ結節点として「施策が市民の健康づくりに期待する効果」を設定することで、将来像と施策を乖離させず、関連性を持たせた施策の道筋をたてるためのものです。なお、数値目標においても施策との関連性を重視するとともに、本市が置かれている状況を把握するためにも国および滋賀県の数値目標を参考に設定しています。

(2) 地区計画(第6章)との整合

地区計画では、基本目標2に掲げる「健康格差の縮小」を実現するため、4つの中学校区域を基本として地域の健康課題を分析し、アクションプランとしてまとめています。本計画に基づき地域保健活動を行うことに加え、実効性のある計画として地域に根差した計画にするため、地区計画のアップデートをしていくことを想定しています。そのため、第3次健康こなん21計画の趣旨から逸脱しないために、基本計画に掲げる施策の方向性との整合を図ります。



「健康管理」「身体活動・運動」「栄養・食生活」などの施策分野ごとに、「市民の健康づくりの将来像」を設定しています。下図のとおり、地区計画(アクションプラン)に基づく取組を実施することにより、ライフステージ別の市民の健康づくりの未来予想図の実現と数値目標の達成を図り「市民の健康づくりの将来像」の実現に近づけます。



数値目標

- ライフステージ別の市民の健康づくりの未来予想図を実現
○数値目標の達成

指標	基準値 (令和5年度)	目標値 (令和12年度)
○○○○○○○	○%	○%
○○○○○○○	○%	○%

健康づくりの未来予想図(期待する効果)

世代共通	○○○○○○○
次世代期	○○○○○○○
青壮年期	○○○○○○○
高齢期	○○○○○○○

- 効果的なアプローチを行い、誰一人取り残さない健康のまちづくりを展開

地区計画(アクションプラン)
に基づく取組を実施

基本計画(右記)における施策の方向性との整合

基本計画における施策の方向性

統計データから見える健康状態の現状と課題

(健康づくりアンケート調査等結果)

-
-

暮らしの安心を支える健康づくり施策

施策	取組方法
○○○	・○○○ ・○○○
○○○	・○○○ ・○○○

第1章

第2章

第3章

第4章

第5章

第6章

關係資料

參考資料